

## 次世代の資金調達法！？

# ICO



金融庁は、平成 29 年 10 月 27 日、ICO が持つリスクなどの注意喚起を実施しました。

「ICO(Initial Coin Offering)について～利用者及び事業者に対する注意喚起～」金融庁

[http://www.fsa.go.jp/policy/virtual\\_currency/06.pdf](http://www.fsa.go.jp/policy/virtual_currency/06.pdf)

有名タレントも ICO 事業をスタートさせるなど耳にする機会が増えてきた ICO。

今回は「ICO」とは何なのか、メリットとデメリット、注意点を通して再確認していきたいと思います。

### ICO とは・・・

Initial Coin Offering(新規仮想通貨公開)の略で「クラウドセール」や「プレセール」、「トークンセール」とも呼ばれます。企業が資金を調達する際の、オンライン上で多くの人から資金を募るクラウドファンディングやIPO(新規株式公開)などに似た仕組みを持っています。従来の資金調達の主流であった IPO は、発行した株式を厳重な審査を通して証券会社に仲介してもらい、投資家に販売するといった仕組みでした。

新しい資金調達方法である ICO が一般的な資金調達方法と異なる点は、企業が独自の仮想通貨(トークン)を販売し、トークンの購入には現金でなく、仮想通貨が用いられるという点にあります。仮想通貨を利用して行うので、簡単に世界中の ICO に参加することができます。

ICO が誕生したことにより、従来の資金調達よりも多くの額を短時間で調達することや、作るプロダクトに将来性を感じてもらいと、たとえ会社の知名度が高くなくても資金調達を達成することが可能になりました。



出展: 仮想通貨投資案内所 (<http://virtualcoin-info.com/ico/ico-toha/>)

### 事業者側のメリット・デメリット

#### メリット

- ・短期間で多額の資金調達ができる可能性がある
- ・最初に多くの資金を用意する必要がない
- ・基本的には調達資金の返済は不要
- ・業者を挟むことなく、投資家から直接資金を調達できる

#### デメリット

- ・プロダクトを投資家に認めてもらう必要がある
- ・失敗すると投資家が大きな損失を被る可能性がある



## 投資者側のメリット・デメリット

### メリット

- ・少額で世界中の ICO に参加することができる
- ・投資した事業が成功すると多額のキャピタルゲイン(売買差益)が期待できる
- ・個人でも支援したい事業に直接投資することができる
- ・仮想通貨を利用するため、ネット上だけで実施が可能
- ・企業の仮想通貨によっては特典等がついている場合がある(支援をおこなったサービス内で使用可能など)



### デメリット

- ・投資した事業が失敗すると資産を失う可能性がある
- ・投資した事業の運営者が、集めたお金を持っていなくなる可能性もある
- ・事業が成功しても、仮想通貨に価値がつかなければ利益を得ることができない
- ・その事業が成功する保証はどこにもないので判断が難しい

## 注意点

ICO の特性上詐欺が起こり得る可能性は捨てきれません。ICO ではサービス開発前に資金を集めるので実際に開発が行われない、実現可能な技術が元々無い、はなから開発する気が無い、といった ICO も存在します。資金を集めるだけ集めて逃げてしまう ICO 実施者も存在するので、参加する際にはかなりの注意が必要です。このようなリスクを減らすには「リテラシー(知識)」をつけるのが一番です。

ICO では「ホワイトペーパー」と呼ばれる企画書が公開されます(ホワイトペーパーが無ければかなり注意が必要です)ので、それをよく読み、実現可能か、調達資金の用途等を確認しましょう。仮想通貨の ICO では技術的な事が書かれている場合が多いので、ホワイトペーパーを理解できるぐらいのリテラシーは事前につけておきましょう。

また、ICO 参加の際は必ず余裕資金で行うようにしましょう。先行販売なので時価が下がる事(全くプラスにならないだけでなくマイナスになる事)ももちろんあります。ICO も投資の一つですので自己責任・自己判断で行わなければなりません。

今回は ICO について簡単にご紹介いたしました。

昨年 9 月に中国で ICO の規制がおこなわれたように、今後日本でも厳しく ICO が規制されていく動きもあると言われています。ICO 詐欺や仮想通貨投資による詐欺も少なくなるかもしれませんが、しかし、ICO に参加する上で一番大事なことは情報収集ですので、一つの情報に頼るのではなくさまざまな情報を集めて判断するようにしましょう。

